

八ヶ岳 南沢大滝 アイスクライミング

2月27日(土) 晴れのち曇り

L:坂野さん メンバー:佐々木さん・神谷(記)

南沢大滝でのアイスクライミングは今シーズン2回目。1回目は短く・簡単なルートを1本だけ登っただけにも関わらず非常に疲れてすぐギブアップしてしまいました。今回は長い距離を最後まで登りきりたいと思い、坂野さんをお願いして南沢大滝に再チャレンジしてきました。

いつもは赤岳山荘まで車を入れてスタートしていましたが、今回は林道がアイスバーンしているとのこと。仕方なく美濃戸口から歩き出します。いつもより余分に歩かないといけないと思うとブルーでした。林道はツルツルしているところが一部あり、私は出だしから思っきり滑ってしまい余計にテンションが下がります。しかもいつものごとく、ハイスピードで坂野さんに歩かされ休憩も与えられず苦しかったです(;ω;)

赤岳山荘から南沢登山道を歩くこと50分、大滝への分岐に到着。
分岐から3分のところにまず小滝があります。前回はここでしばらく練習しましたが今回は大滝が目的なのでパス。
(写真は帰りに撮影。朝は誰もいませんでした。)



小滝から5分くらい歩くと大滝に到着。



朝9時ごろに到着しましたが先客がいなくて
びっくりしました(° ㇿ °)
到着時はとても寒くてしばらく指の感覚が
ありませんでしたが、
段々と温かくなってきました。

最初の1本目は前回と同様、左端の一番短く簡単なルートで練習。
はじめに坂野さんがリード。次はトップロープで佐々木さん。最後は神谷。



はじめはなぜか消極的だった坂野さん



頑張る佐々木さん



大滝の上からの景色。快晴！



大滝の上の支点



ルートを少しずつ右に移しながら合計 3 本トップロープで登りました。

オレンジ線… 1本目 短くて大滝の中では一番手頃コース。最後の5m だけ垂壁

ピンク線… 2本目 上部 1/4 くらいが足場がないちょっと面倒くさいコース

茶色線… 3本目 中間はクラゲ状で足場があるけど最後はつらら状でドキドキするコース



ビレイはしっかりやっています！



リーダー作のアバラコフで
懸垂下降

今シーズン最後かもしれないアイスなので、「基本のフォームで丁寧に登る」「最後まで登りきる」を目標にしてゆっくり登りました。いつもはアックス(腕の力)だけで登ろうとしていたためすぐバテてしまいました。今回は足でしっかり氷を蹴り込んでアイゼンの爪で安定したフォームで立つことを心がけました。途中何回もレストしまくりましたがなんとか3本登りきりました。つい「わたし、上手になったかも??」なんて調子に乗ってしまっていたら、ビレイ中に氷の小さな破片が鼻に直撃。痛かったし傷になってしまいました(;ω;)バチがあたってしまった。もう調子乗りません。(反省)

やっとアイスの基本がわかってきたところで、アイスクライミングシーズンが終了になってしまうのはとても残念です。そして毎回リーダーが一人でリード・支点作り・終了点回収をしていただき、私はただ登るだけ..の状態。役立たずで申し訳ない気持ちでいっぱいでした。スクリューを打ってリードは難易度が高すぎて到底無理ですが、アイスクライミングのオフシーズン中は苦手なクライミング技術を努力してもっとあげたいと思います。

<タイム>

美濃戸口P(07:15)ー1720mゲート(07:58)ー南沢大滝(09:00~15:00)ー1720mゲート(16:10)ー美濃戸口P(16:50)

